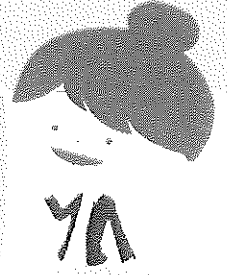


山梨県内の製造業へ就職を考えている

大学 4 年生 生  
大学院 2 年生 等  
高専 5 年生 生

学生の皆様へ



大学院生(修士)の場合

最大  
211  
万円

# 奨学金の返還 山梨県が補助金支給!

山梨県では県内の機械電子産業(※)へ就職した場合奨学金の返還を補助します。(卒業前2年分を対象)

※機械電子産業とは次の業種の産業です。

プラスチック製品製造業: プラスチック部品製造業、樹脂製品製造業	金属製品製造業: 金属プレス設備製造業、金属器製造業、オルト・おし製器等
はん用機械器具製造業: ホンプ、エレベータ、物流用設備、加圧機製造業等	生産用機械器具製造業: 農業・建設機械、金属加工機械、半導体製造装置、ロボット製造等
特殊機械器具製造業: 事務用機器、計器器、医用用器具、光学器具製造業等	電子部品・デバイス・電子回路製造業: 半導体素子、スイッチ、光デバイス製造等
電気機械器具製造業: 電気用器具、電気照明、電池、電気計測器製造等	情報通信機械器具製造業: 情報通信機、映像・音響、コンピュータ製造等
交通用機械器具製造業: 自動車、自動車用、船舶部品、フォークリフト製造等	

募集人数

32名程度

応募期限

2020年8月31日(月)

対象者

2021年4月就職(技術職) 予定で理工系学部在籍の大学生等

対象企業

勤務先を山梨県として採用を行っている企業(大企業を含む)  
又は山梨県内に本社を有する中小企業

対象奨学金

日本学生支援機構奨学金(第1種・第2種)

応募から補助までの流れ

※2021年4月就職予定の方の場合

2020年

4月

応募

2021年

4月

選考・認定

2022年

4月

就職

就労確認

補助

開始

※対象製造業、補助金額などの詳細は県HPの募集要項をご覧ください。お問合せください。

「山梨 人材育成」で検索できます。

[http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo-jin/syuugyohojyokin/syuugyohojyo\\_top.html](http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo-jin/syuugyohojyokin/syuugyohojyo_top.html)



ご応募  
お問合せ先

■お気軽にお問合せいただき、まずは、ご応募ください■

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県 産業労働部 産業人材育成課 担当 山下  
Tel: 055 (223) 1567 Mail: sangyo-jin@pref.yamanashi.lg.jp

# 令和2年度山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金支給対象者募集要項

山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金は、製造業における高度な知識又は技術を有する人材を確保及び育成するとともに、これら技術系人材の県内定着を促進するため、山梨県と産業界との出捐により基金を創設し、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けている大学生等が、対象業種企業に就職し、県内で一定期間従事した場合に、卒業前2年間に貸与を受けた奨学金の返還を補助金支給するものです。

補助金の支給対象となる大学生等を募集しますので、ぜひ、ご応募ください。

## 1 募集対象者

申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれらに準ずる学部、研究科等（以下「大学等」という。）に在学し、次の各号のすべてに該当する学生を対象とします。

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金又は第二種奨学金の貸与を受けていること。
- (2) 令和3年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を予定していること。
- (3) 令和3年4月初日を起点とした10年間のうち、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること。

### ※ 対象業種企業

県内に本社を有する中小企業、又は勤務先を山梨県に限定した採用を行っている企業のうち、日本標準産業分類に規定する次の業種のいずれかに該当する企業。なお、大企業（資本金3億円以上かつ従業員300人以上）又は県外本社の中小企業に就職予定の方は、勤務先が山梨県に限定した採用であることが必要です。

- ・中分類18 プラスチック製品製造業
- ・中分類24 金属製品製造業
- ・中分類25 はん用機械器具製造業
- ・中分類26 生産用機械器具製造業
- ・中分類27 業務用機械器具製造業
- ・中分類28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- ・中分類29 電気機械器具製造業
- ・中分類30 情報通信機械器具製造業
- ・中分類31 輸送用機械器具製造業

## 2 募集人数

令和2年度（2021年3月）卒業予定者 32名

## 3 募集期間

令和2年4月1日（水）～令和2年8月31日（月）

※ただし、募集人員に達したところで募集は締め切ります。

## 4 補助内容

支給対象者として認定された方が、大学等卒業後、直近の9月末日までに対象業種企業に正規雇用により就業かつ山梨県内に住所を有し、その事実が確認できる書類を添付して申請することにより、前年度の山梨県内での勤務実績に応じて、奨学金の返還を補助します。

補助額等 大学等の在学時に奨学金として貸与を受けた額のうち下記表の額

区分	補助金の額
1 第一種奨学金のみの貸与を受けた期間	卒業前2年間に第一種奨学金として貸与を受けた額
2 第二種奨学金のみの貸与を受けた期間 ※別表を参考にしてください。	卒業前2年間に第二種奨学金として貸与を受けた額（ただし、月額の補助上限額は、独立行政法人日本学生支援機構法施行令（平成16年政令第2号）第1条第1項の表の上欄に掲げる学校を卒業した者について、同欄に掲げる学校等及び通学形態の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に定める月額の最高額とする。）
3 第一種奨学金、第二種奨学金の両方の貸与を受けた期間	卒業前2年間に第一種奨学金として貸与を受けた額及び第二種奨学金として貸与を受けた額（ただし、月額の補助上限額は、2の区分と同様とする。）


(例) 国公立大学・自宅通学・第二種奨学金の貸与月額30,000円の場合

貸与月額30,000円×卒業前2年間に貸与を受けた月数24ヶ月＝補助額720,000円

毎年度補助額 交付決定額×1/8×（前年度に県内事業所で勤務した月数÷12）

※卒業後10年間のうち、県内に住所を有し、対象業種企業の県内事業所に就業した期間に応じて支給します。（通算8年間勤務で補助上限額の満額を支給。）

山梨県知事 殿

申請者住所 山梨県甲府市〇〇町111〇〇アパート111号  
氏名 山梨 太郎 印 

山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金支給対象者認定申請書

支給対象者の認定を受けたいので、山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金交付要綱第6条第1項の規定により関係書類を添えて申請します。

記

私は、大学等を卒業する日以後直近の4月初日を起点とした10年間のうち8年間以上、山梨県内の対象業種企業に勤務し、かつ県内に定住する見込みです。

はい  いいえ ※該当にマル (○) をしてください

申請者	住所	〒 111-111 山梨県甲府市〇〇町111〇〇アパート111号		
	(ふりがな) 氏名	やまなし たろう 山梨 太郎		
	生年月日	平成 10 年 5 月 1 日		
	電話番号	090-1111-1111 ※必ず本人に繋がる電話番号を記載すること		
(申込日現在) 修学状況	名称	〇〇 <input checked="" type="radio"/> 高等専門学校 <input checked="" type="radio"/> 大学 <input type="radio"/> 工 <input checked="" type="radio"/> 学部 <input type="radio"/> 工 <input checked="" type="radio"/> 学科 <input type="radio"/> 大学院 <input type="radio"/> 研究科 <input type="radio"/> 専攻		
	所在地	〒 222-222 山梨県甲府市〇〇町222		
	在籍学年	4年	卒業予定	令和3年3月
	通学形態	自宅通学期間： 年 月 日～ 年 月 日 自宅外通学期間：平成29年4月1日～令和3年3月31日		
奨学金	名称	独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金	独立行政法人日本学生支援機構第二種奨学金	
	金額	51,000 円/月 (総額 1,224,000 円) ※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。	円/月 (総額 円) ※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。	
	貸与期間	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日	年 月 日～ 年 月 日	

※添付書類

- (1) 履歴書 (様式第2号)
- (2) 応募理由書 (様式第3号)
- (3) 奨学金の借り入れを証する書類
- (4) 成績証明書
- (5) その他知事が必要と認める書類

# 応募理由書

1 応募の動機

私は、学んできた〇〇専門分野で山梨県の産業を盛り上げていきたいとの思いから応募しました。

〇〇〇 . . . . .  
. . . . .  
〇〇〇 . . . . .

2 専門分野及び研究内容

私は、学んできた〇〇専門分野で〇〇の研究を行っています。

〇〇〇 . . . . .  
. . . . .  
〇〇〇 . . . . .

3 将来活躍したい産業分野

私は、学んできた〇〇専門分野で開発を行える〇〇関連の産業分野で活躍してみたいと考えます。

〇〇〇 . . . . .  
. . . . .  
〇〇〇 . . . . .

山梨県知事 殿

申請者 住 所  
氏 名

印

山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金支給対象者認定申請書

支給対象者の認定を受けたいので、山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金交付要綱第6条第1項の規定により関係書類を添えて申請します。

記

私は、大学等を卒業する日以後直近の4月初日を起点とした10年間のうち8年間以上、山梨県内の対象業種企業に勤務し、かつ県内に定住する見込みです。

はい・いいえ ※該当にマル (○) をしてください

申請者	住 所	〒		
	(ふりがな) 氏 名			
	生年月日	年 月 日		
	電話番号	※必ず本人に繋がる電話番号を記載すること		
(申込日現在) 修学状況	名 称	高等専門学校 大学 大学院	学部 研究科	学科 専攻
	所在地	〒		
	在籍学年		卒業予定	年 月
	通学形態	自 宅 通 学 期 間 : 年 月 日 ~ 年 月 日 自 宅 外 通 学 期 間 : 年 月 日 ~ 年 月 日		
奨学金	名 称	独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金	独立行政法人日本学生支援機構第二種奨学金	
	金 額	円/月 (総額 円) ※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。	円/月 (総額 円) ※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。	
	貸与期間	年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日	

※添付書類

- (1) 履歴書 (様式第2号)
- (2) 応募理由書 (様式第3号)
- (3) 奨学金の借入を証する書類
- (4) 成績証明書
- (5) その他知事が必要と認める書類



## 応募理由書

1 応募の動機
2 専門分野及び研究内容
3 将来活躍したい産業分野

産人第54号  
令和2年4月10日

各大学学生支援ご担当者様

山梨県産業労働部産業人材育成課長  
( 公 印 省 略 )

山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金の周知について(依頼)

本県では、製造業における高度な知識又は技術を有する人材の県内定着を促進するため、山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金制度の支給対象者を募集しております。

本制度は、理工系の大学生、大学院生が山梨県の支援対象企業に就職した場合に、就職した学生の奨学金の返還を支援するものです。

このたび、令和2年度卒業予定者の募集を開始しましたので、ご多用の折とは存じますが、当該取り組みの周知について格別のご配慮をいただけますようお願いいたします。

**【送付内容】**

- |         |    |
|---------|----|
| ・リーフレット | 1枚 |
| ・募集要項   | 1部 |

山梨県 産業人材育成課 人材育成担当 山下  
TEL 055-223-1567